廃プラスチック削減取組計画

● プラスチック資源循環促進法の対応

プラスチック製品の設計から製造・使用後の再利用まですべてのプロセスで資源循環をしていくため、排出量の集計、再資源化の状況、排出の抑制計画について、下記に報告いたします。

2022年度の排出量は250t以上のため、排出抑制及び再資源化等の促進に取り組みます。

1．廃プラスチック排出目標値

年度	排出量	目標量	
2022年	274 t	-	
2023年	**-**	**237t**	**※前年比- 14%**

2．生産計画

年度	総生産数量	目標量	
2022年	3.7億枚	-	
2023年	-	4.1億枚	**※前年比+10%**

2023年度の商品の総生産数量は、2022度度より約1割の増加を見込んでおりますが、廃プラの排出量は前年度より削減を計画しています。

3．削減計画

排出抑制	・ラインの歩留まり改善（ロス削減） ・良品排出量：前年比2%削減 ⇒ **年間約4t削減**
再資源化	・ストレッチフィルムの有価買取 ⇒ **年間約3t削減**
熱回収	・廃カイロ有価買取 ⇒ **年間約30t削減**

上記の削減計画を実施することで、排出量250t以下を目指します。